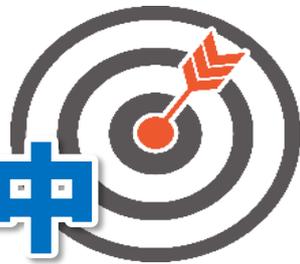


2026  
ズバリ! 的中



日本史

# 同志社大学

明治時代の経済発展に関する空所補充問題が  
ズバリ的中

## 入試問題

2月8日実施 法、グローバル・コミュニケーション学部  
大問Ⅲ 設問a、設問エ、カ

## 河合塾

直前講習  
同志社大 日本史突破テスト 第1講 大問Ⅲ

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、文中の空欄に対応する下記の【設問 a】～【設問 g】および【設問ア】～【設問ク】に答えよ。(45点)

幕末、各地に港が新たに開かれ貿易が拡大すると、安価な輸入品との競争により日本の綿業は打撃を受け、一時的に衰えた。しかし、1873年、( a ) が手回しの紡績機であるガラ紡を発明し、1877年に内国勸業博覧会へ改良機を出品して以降は、これが普及して手紡より生産量が向上するようになった。その後、1882年に渋沢栄一らが ( ア ) を設立して、翌年、蒸気機関を用いた綿糸の機械生産を開始すると、夜間に電灯を用いた昼夜2交代制で設備を稼働させ、綿花から綿糸を紡ぐ紡績業が発展した。1890年、綿糸の国内生産量は輸入量を上回り、1897年には輸出量が輸入量を上回った。紡績会社は合併などで企業規模を拡大し、大型の力織機を輸入して綿織物を大量に生産するようになった。また、( b ) は1896年に木鉄混製の力織機を発明し、国産力織機を導入した小工場が農村に建てられるようになった。

原料の綿花は中国、インドなどから輸入され、国内での綿作は衰えていった。一方、国産の繭を原料とする生糸は、開港以来、外貨の稼ぎ手として製糸業を成長させた。当初は簡単な器具を使った手動による座繰製糸が中心だったが、糸枠を動力で回転させ生糸を巻き取る装置を用いた器械製糸が登場し、1872年に群馬県で開業した官営模範工場である ( c ) 製糸場に導入されて急速に普及した。1909年には、日本が世界最大の生糸輸出国となった。

少ない資本で経営できる軽工業に対し、重工業の発展は遅れた。政府は基礎となる鉄鋼の国産化を目指して、官営製鉄所として ( イ ) を設立した。福岡県の遠賀川流域を中心とする炭田の近くに作られ、1901年に操業を開始した。日露戦争後、政府は軍備拡張を進め、たとえば1907年、北海道の室蘭に北海道炭礦汽船とアームストロング社、ヴィッカース社の出資によって民間の製鋼会社である ( ウ ) が設立され、おもに海軍向けの兵器が生産された。また、造船業は、1887年に官営事業払い下げを受けて設立された ( エ ) などがあつたが、国産船の建造を促すため1896年に700総トン以上の鉄製または鋼製の船舶の建造に助成金を与える ( d ) が制定され、造船技術も世界的水準に近づいていった。工作機械の分野でも1889年創業の ( オ ) が精度の高い旋盤を生産するようになり、工作機械の国産化が進められた。

〔Ⅲ〕 次の(1)～(4)の文章を読んで、それらに関する【設問 a】～【設問 p】に答えよ。

- (1) 明治新政府は「万国対峙」の必要性から富国強兵を目指し、政府主導のもとで近代産業を育成する殖産興業を推進していった。まず、政府は旧幕府の長崎・横須賀・兵庫造船所などを接収し、東京・大阪砲兵工廠を官営とするなど、軍事工業の育成に重点をおいた。また、1870年に工部省を設置し、お雇い外国人の指導のもと、欧米の先進技術の導入をめざした。特に鉄道事業に力を注ぎ、イギリスの資本・技術援助をうけて1872年には新橋・横浜間に、官営鉄道が開通することとなった。一方、政府は、輸入超過を改善するために綿糸輸入の軽減や生糸輸出の増大をめざし、愛知紡績所や、富岡製糸場などの官営模範工場を設立して民間に近代産業の模範を示すとともに、近代的な職工の養成をはかった。1873年には ( c ) を中心として内務省を設置し、1877年には国内の改良器具や物産を集めて東京上野で、第1回内国勸業博覧会を開催するなど、在来産業の改良・育成をめざした。

【設問 a】 下線部 a に関して、日本の鉄道は官設官営で始まったが、やがて私営鉄道の営業キロ数が官営鉄道のそれを上回るようになった。こうした私営鉄道のうち、1881年に設立された日本最初の民間鉄道会社の名称を解答欄Ⅲ-A に漢字で記せ。

【設問 d】 下線部 d に関して、この博覧会で最高の賞を与えられた紡績機を発明した人物の名を解答欄Ⅲ-A に漢字で記せ。

鉄鋼業の発展に寄与した鉄道の建設については、1881年に (カ) が設立され成功することで、各地に民営鉄道が敷設されるようになった。1889年には新橋・神戸間で東海道線が全通した。同年、民営鉄道は官営鉄道の営業距離を上回ったが、1906年に (e) が制定されると、民営鉄道が買収され国有鉄道の比重が大きくなった。海運は、1882年に政府が (キ) を三井を中心とした半官半民の会社として設立し、郵便汽船三菱会社に対抗したが、激しい競争を経て、1885年、両社は合併し日本郵船会社が設立された。1896年には、外国航路への就航のため、総トン数1000トン以上で最大速力10ノット以上の鉄製または鋼製の船舶に奨励金を与える (f) が制定され、遠洋航路の開拓が進められた。

こうしたなか、大企業による資本の集中が進み、三井、三菱、住友、安田などの政商は、銀行や商社、鉱工業などを傘下に収め、株式所有を通じて企業を支配し、財閥と呼ばれるようになった。このうち、三井財閥は、1876年に三井銀行、三井物産を設立し、その後、九州の (g) 炭鉱の払い下げを受け、1892年に三井鉱山を設立した。三菱財閥は、1873年に (ク) が創立した三菱商会から始まり、東京海上保険、三菱商事などを所有した。

【設問 a・b】文中の空欄 (a)・(b) に入る最も適切な人物名をそれぞれ解答欄Ⅲ-Aに漢字で記せ。

【設問ア～ク】文中の空欄 (ア)～(ク) に入る最も適切な語句を次の【語群】から1つずつ選び、その番号を解答欄Ⅲ-Bに記入せよ。

【語群】

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 京釜鉄道     | 2. 山陽鉄道     | 3. 関西鉄道    |
| 4. 日本鉄道会社   | 5. 共同運輸会社   | 6. 三井合名会社  |
| 7. 日本産業会社   | 8. 日立製作所    | 9. 池貝鉄工所   |
| 10. 日本鋼管    | 11. 八幡製鉄所   | 12. 日本製鉄会社 |
| 13. 日本製鋼所   | 14. 横須賀製鉄所  | 15. 鞍山製鉄所  |
| 16. 東洋紡績会社  | 17. 大日本紡績会社 | 18. 鐘淵紡績会社 |
| 19. 大阪紡績会社  | 20. 石川島造船所  | 21. 横須賀造船所 |
| 22. 三菱長崎造船所 | 23. 古河市兵衛   | 24. 浅野総一郎  |
| 25. 鮎川義介    | 26. 岩崎弥太郎   |            |

(2) 1880年代前半に展開された松方財政下では、緊縮財政にともなうデフレによって農作物価格が下落し、多くの自作農が小作農に転落する一方で、土地を集積した地主は寄生地主化していった。この結果、小作農の子女らは家計補助のために低賃金労働者化する一方、寄生地主は小作料収益を農外産業に投資するようになった。また、同財政下では、官営事業の払い下げによって民間資本の育成がはかられるとともに、銀本位制の導入などの金融システムの整備も進められた。

こうした資本主義発達のための前提条件の形成を背景に、まず紡績業と製糸業を中心として産業革命が始まった。紡績業では、大阪紡績会社の成功以降、大規模な紡績会社が関西を中心に次々と設立され、輸入機械を使用して生産を拡大していった。この結果、1890年には綿糸の国内生産高は輸入高を凌ぐようになり、中国・朝鮮市場への進出が強まった日清戦争後の (g) には綿糸の輸出高が輸入高を上回った。一方、製糸業では洋式機械を改良した器械製糸が普及し、日清戦争後には器械製糸の生産高が座繰製糸の生産高を上回り、1909年には中国を抜いて生糸輸出高で世界1位になった。

重工業の産業革命は、日露戦争の前後に鉄鋼業・造船業などで進展していった。その代表例である官営八幡製鉄所は、中国の (h) 鉄山の鉄鉱石と福岡県の筑豊炭田の石炭を使用して1901年に操業を開始した。民間においては、1907年に日本製鋼所がイギリスのアームストロング社・ウィッカース社と三井の合弁で設立され、海軍用の鉄鋼などを生産していくことになった。

【設問 e】下線部 e に関して、政府は経費節減のためもあり、官営事業を民間に払い下げた。払い請け人と事業所の組み合わせとして適切なものを次の中から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ-Bに記入せよ。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 三井-長崎造船所   | 2. 三菱-新町紡績所        |
| 3. 川崎正蔵-兵庫造船所 | 4. 古河市兵衛-深川セメント製造所 |